

数字で振り返る岩見沢

私たちの日常生活は、気象など身近な自然現象のほか、通学や通勤時の交通、食料品などの買い物、ごみ処理、病院や学校、住まいの快適さなど、さまざまな社会現象と関わっています。こうしたさまざまな現象を正しく理解するため、岩見沢に関する統計数字を過去に遡って紹介していきます。

問合先 庶務課市史資料室（北村支所内） ☎ 56-2001

第5回 毎日使う水の循環

今月の数字 ペットボトル 100 本分

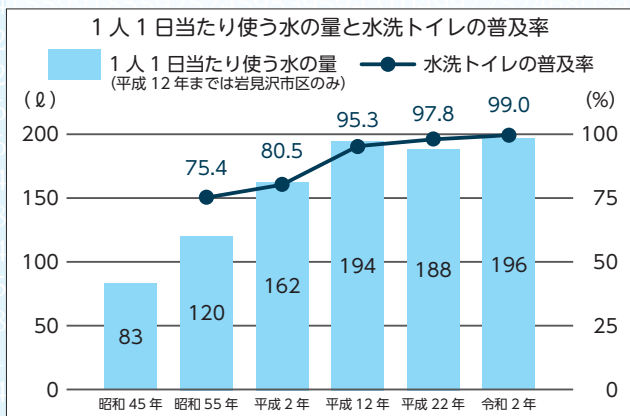
お風呂やトイレ、料理や洗濯など、私たちが日常の生活で使う水の量は、1人1日当たり約200リットル、2リットルのペットボトル100本分になり、50年前と比べて2倍以上に増えています。まだ水道がいきわたっていなかった頃は、川の水や井戸の水を汲み上げて利用するなど一苦労でした。昭和32年に桂沢ダム、翌年に浄水場が完成し、配水池、水道管を順次整備したことで、安全安心な水を家庭に届けられるようになり、昭和30年代から40年代前半にかけて水不足が解消されていきました。

家庭で使った水は、下水道管を通して処理場に届き、きれいな水にしてから川に流しています。下水道管がない地域では、浄化槽が使われ、汚れた水をそのまま流さない仕組みになっています。下水道管が普及する前は、し尿を農作物の肥料として活用していましたが、伝染病の原因ともなっていた蚊やハエの発生など衛生管理が課題でした。そこで、昭和20年代後半から人口が集中する地区を中心に下水道整備が進み、昭和40年から南光園処理場でし尿の衛生処理が開始、昭和48年からは水洗トイレが普及し始め、令和2年では処理区域内の99パーセントに当たる約37,000世帯が下水道施設を利用しています。また、南光園処理場では処理過程で発生する汚泥を肥料化し、資源の有効利用も進めています。

私たちの生活に欠かすことができない水道水を維持するため、市は漏水の原因ともなる古くなった水道管を計画的に交換しています。家庭でも、漏水がないか点検する、ごみや油を流して水を汚さない工夫をするなど、できることから水の循環を考えてみませんか。



水と岩見沢バスツアー
(平成28年8月)



人の動き (令和6年6月30日現在)

●住民基本台帳 人口 男 34,893人(前月比 - 56)
女 39,825人(前月比 - 50)
総数 74,718人(前月比 - 106)
世帯数 40,625世帯(前月比 - 26)

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977

ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



X (旧 Twitter)



Facebook



Instagram



LINE

発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報室

広報クイズ

プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

問題

創業塾は、令和5年度までに356人の卒業生を輩出し、その内□□人が市内で創業しています。
□に当てはまる数字をお答えください。

締め切り 8月20日(火) (必着)

応募方法

はがき(送付先左記)、市ホームページのフォーム、ファックス(0126-23-7731)、Eメール(pr@city.iwamizawa.lg.jp)で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報室へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。7月号の正解は33でした。

